

1 月例会 『娘よ』 (パキスタン映画)

娘を守るため掟を破り部族からの脱出を図る母親の物語

新年明けましておめでとうございます

去年は、1月に『最高の花婿』、3月に『ライオン-25年目のただいま-』、6月に『人生フルーツ』、7月に『カノン』、9月に『はじまりの街』、11月に『しゃぼん玉』の鑑賞会を開きました。いつも、会員数が伸び悩み運営が厳しいなどと言いながらも、振り返ってみると多彩な作品であったと思います。

また、加古川シネマクラブ創設時からのメンバーで、全国の映画鑑賞団体の世話役をし、兵庫県における映画上映活動に生涯を捧げてきた岡本健一郎さんが9月30日に逝去し、運営委員の皆さんもショックなこともありました。その中でも新しい運営委員が加わり、良質の映画を鑑賞する機会を増やすよう、身の丈にあった会の運営をしていきたいと思ひます。

新年は、設立以来 100 回目の例会です。会員数が伸び悩んでいる中、大きなイベントを行うことはできませんが、去年に引続き「共感もてる映画」「良質な映画」「心暖まる映画」を選び、「人との出会い」を大切に、また一年頑張っていこうと思ひます。

本年もよろしくお願ひいたします。

例会のお知らせ

■名称／第100回例会 『娘よ』

■日時／2019年1月24日(木)

①PM2:00～、②PM4:20～、③PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩 10 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ 600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル／娘よ

■監督／アフィア・ナサニエル

■出演／サミア・ムムターズ、サーレハ・アーレフ、モヒブ・ミルザ

■ストーリー／パキスタン、インド、中国の国境に

そびえ立つカラコルム山脈。その麓には多数の部族が暮らし、絶えず争いが繰り返されていた。ある日、部族間の抗争を終わらせるべく族長同士の話し合いがもたれ、和解の証としてわずか10歳の少女ザイナブが、はるかに年の離れた相手部族の族長と結婚することが決まる。族長の決定は、どんな理不尽な内容でも従うのが村の掟であった。それでも、自らも15歳で望まぬ結婚を強制された過去を持つ母アッラキは、愛する娘には同じ思いをさせたくないと、どうしてもこの決定を受け入れることができない。そこでザイナブの未来を守るべく、結婚式当日、彼女を連れて命がけの脱走を決行するアッラキだった。対面と誇りを傷つけられた両部族は共同で二人の追跡を開始する。果たして二人の行方に待つものとは・・・。

■解説／監督は本作が長編デビューとなるパキスタン期待の女性監督アフィア・ナサニエル。

■データ／2014年、パキスタン／アメリカ／ノルウェー、1時間33分

■ジャンル／ヒューマンサスペンスドラマ



忘年会を開催しました

今年の忘年会は、12月10日(日)に東加古川駅前のイタリア料理店「ピッツェリア アネッロ」で、加古川シネマクラブの会員・その家族、明石シネマクラブと兵庫県映画センターの有志を含め計13人の参加で開催しました。近況や一年を振り返ったりしながら楽しい時を過ごしました。

前回例会の報告

11月20日の例会は、一般の方も参加できる特別例会として、『しゃぼん玉』を鑑賞しました。宮崎県北部椎葉村を舞台にした乃南アサの同名のベストセラー小説を映画化した作品。ストーリーは、親の愛を知らずに育ち、通り魔や強盗傷害を繰り返す無軌道な若者が、村の人々とのふれあいによって変わっていく姿を描いたもので、市原悦子をはじめとするキャストもよく、秦基博の音楽と合わせ、良い映画でした。

参加会員87人、明石シネマクラブからの参加者6人、一般157人で合計250人の参加者でした。

今後も、良い映画を鑑賞することと、映画文化に貢献できることを考えながら、また、会の存続のために赤字が大きくなる方法を考えながら、例会を企画していきます。

明石シネマクラブ例会情報

■名称／『はじめてのおもてなし』

(原題「Willkommen bei den Hartmanns」/英題「Welcome to Germany」)

(2016年、ドイツ、116分)



■解説／ミュンヘンの裕福な一家を舞台に、母親の独断で一人の難民青年を受け入れたことから生じる家族の戸惑いと思いがけない大騒動の行方をユーモラスに描いたドイツ発のヒューマン・コメディ。

ミュンヘンの閑静な住宅地に暮らすハートマン家。ある日、元教師の母アンゲリカがいきなり難民を一人受け入れると宣言、当惑する家族の反対を押し切り、ナイジェリアから来た難民の青年ディアロを自宅に住ませることに。それぞれに問題を抱え、バラバラになりかけていたハートマン家。そんな中、天涯孤独の青年ディアロをもてなそうと張り切りアンゲリカだったが…。

2017年ドイツ・アカデミー賞観客賞受賞、バイエルン映画賞作品賞・プロデューサー賞受賞

■監督／サイモン・バーホーベン

■出演／センタ・バーガー、ハイナー・ラウターバッハ、フロリアン・ダービト・フィッツ、パリーナ・ロジンスキ、エリアス・ムバレク

■日時／2月13日(水) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスパア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

会員数 134人(11月20日現在)